

# Wesley Hall News

ウェスレー・ホール・ニュース

April, 2023 No.142

イザヤ書 第43章19節

見よ、私は新しいことを行う。  
今や、それは起ころうとしている。



# 大切なものを見つけるコツ

大学宗教部長  
大宮 謙



新入園、新入学された皆さん、ようこそ青山学院へ。皆さんを心から歓迎します。新しい生活の中で、人生の宝だと思う大切なものが見つかりますように祈っています。

宝を見つけるヒントになればと願い、一つのエピソードを紹介します。それは、キリスト教の春の祭り、イエス・キリストの復活を祝うイースターに関連するものです（新約聖書ヨハネによる福音書 21章1節以下）。それは、こんなエピソードです。イエスの一番弟子ペトロが、ティベリアス湖（別名ガリラヤ湖）で漁に出ました。ペトロは、イエスの弟子になる前は、この湖で漁師をしていました。居合わせた6人の弟子たちも、一緒に漁に出ました。ところが、その夜は何も捕れませんでした。夜が明けた頃、復活したイエスが岸に立っていました。でも、弟子たちはイエスだとは分かりませんでした。「何か捕れたか」と聞かれた弟子たちは、相手がイエスだとは分からないままに「捕れません」と答えます。すると、イエスが「舟の右側に網を打ちなさい。そうすれば捕れるはずだ。」とアドバイスします。そこで弟子たちが網を打ってみると、153匹もの魚が捕れ（11節）、あまりの重さに網を引き上げられないほどでした。

このエピソードを踏まえ、大切なものを見つけるコツを二つお伝えし

イエスは言われた。「舟の右側に網を打ちなさい。そうすれば捕れるはずだ。」そこで、網を打ってみると、魚があまりに多くて、もはや網を引き上げることができなかった。

ヨハネによる福音書 21章1-6節（一部抜粋）

たいと思います。一つは、上手く行かなかった直後でも、誰かのアドバイスを受け入れてチャレンジしてみることです。一晩中、漁をして何も捕れなかった弟子たちは、ぐったりしていたに違いありません。そんな時に誰だか分からない人から「舟の右側に網を打ちなさい」などと言われても、「もうさんざんやってみたけどダメだったんだ」と言い返したくなるのではないのでしょうか。でも、一回チャレンジしてダメだったからと言って、二度目もダメだとは限りません。同じことにチャレンジする場合でも、タイミングによって結果は違ってくるものです。ですから、「やってみたら」と勧められた時には、「どうせまたダメだろう」と決め付けず、ぜひチャレンジしてみてください。

二つ目は、「勝ちパターン」から外れても、諦めずにチャレンジしてみることです。たとえ、あるパターンで一回上手く行ったとしても、いつでもどこでも同じことが通用するわけではありません。このエピソードに即して言えば、今回は「舟の右側」に大漁が待っていましたが、いつも「舟の右側」だけに良い結果が待っているとは限りません。たとえ「困った展開だ」と思う状況になっても、案外、思い掛けないお宝に巡り合うかもしれません。

世界を造った神は、人間の考えが及ばないスケールの大きさで物事を動かす方だと信じます。決め付けたり、諦めたりせずに、ぜひ青山学院で神が皆さんに用意してくださっているお宝探しを楽しんでみてください。意外と思いがけないところで人生の宝が見つかるかもしれません。皆さんの青山学院での生活に、神の守りと導きが豊かにありますように！

# ようこそ青山学院へ

新たな出会いと発見に満ちた学院生活。  
新しい仲間へ歓迎のメッセージを贈ります。

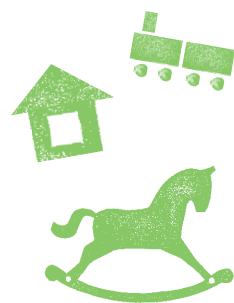
幼稚園教諭 赤坂 洋子

## 神さまに信頼して

ご入園おめでとうございます。ようこそ、幼稚園へ！

皆さんがこれから3年間過ごす幼稚園って、どんな所でしよう？ お兄さん、お姉さんたちに聞いてみたら「毎日くる所」「積み木とか、大工さんとかがあって、それで遊ぶ所」「友だちもいる」などと言っていましたよ。「年少さんは、ママと離れるのが悲しくて泣いちゃうかな？」と心配するお姉さんに「そういう時は、どうしたらいいの？」と聞いてみたら「初めは悲しくても、だんだん楽しくなるから大丈夫」「いっぱい遊んだら好きになるよ」と教えてくれました。そう、幼稚園は皆さんが好きなことをして、いっぱい遊ぶ所です。楽しいことや嬉しいことがたくさんありますよ。悲しくなった時は、先生たちはもちろん、お兄さんお姉さんたちも皆さんを守ってくれることでしょう。

そして青山学院幼稚園は礼拝を大切にしている所です。毎日、お祈りをして、讃美歌を歌います。どんな時も、父なる神さまと一緒にいてくださいます。神さまに信頼して、安心して幼稚園の3年間をスタートいたしましょう。



## 親子で読んで欲しい絵本

幼稚園教諭 矢部 尚子

『ちょっとだけ』（瀧村有子 さく 鈴木永子 え）福音館書店

私がこの絵本に出会ったのは、長女が2歳、次女を妊娠している頃でした。優しい絵に惹かれて絵本を開くと、そこには赤ちゃんが生まれてお姉ちゃんとなったなっちゃんが、忙しいお母さんを気遣って様々なことを自分でやってみようとする健気な姿が描かれていました。しかしなっちゃんの頑張りの糸はとうとう切れてしまいます。その時のお母さんの愛情深い対応を読み、私は涙が溢れ出したのを今でも覚えています。

下の子が生まれ、神様から授かった我が子への愛情は以前と変わらないのに、物理的に余裕がなくなる母親の気持ちにこの絵本は優しいエールを与えてくれます。私も3人の子どもたちが幼かった頃は必死の毎日でしたが、この絵本を読む度に涙ぐみ我が子をいっぱい抱っこしました。幼稚園でも時々「下の子を授かりました。嬉しいけれどドキドキです」と保護者から話を聞くことがあります。その時にはこの絵本を紹介し、子育ての面白さと大変さを共に分かち合っていきましょうね、とエールを送っています。



初等部教諭 谷 純太

## 備えられた道

ご入学ご進級おめでとうございます。新年度をどのような思いで歩み始めているのでしょうか。

昨年度の私の日課は、担任する1年生の日記を毎日読むことでした。入学してしばらくは絵でかいていたものが、ひらがな・カタカナ・漢字を学び、文章で日記を書けるようになっていく1年生の姿に大きな成長を感じました。

1年生で最初に学ぶ漢字は「一」です。一番の一です。「青山学院は日本一・世界一の学校です」と言い切ることは私にはできません。なぜなら、世界には数え切れないほど学校があって、それぞれに良さがあって、比べることなどできないからです。でも「青山学院が今のあなたにとって一番相応しい場です」と言うことはできると考えています。なぜなら、今のあなたにとって最も相応しい道として神様が備えて下さったと信じるからです。人によってではなく、神様によって備えられた道なのです。道に悩む時、私の師がそう教えてくれました。

「あなたの道を主に任せよ。」(詩編 37:5) 神様によって備えられた道を、主に任せて、祈りながら歩めますように。

### 3年 長谷川 世名

## ぼくのおすすめ



入学おめでとう。

1年生のおすすめのあそびを教えてあげるよ。1年生の教室の前には、にじ色広場があって、ジャングルジムやうんていがあります。しばふでおにごっこをすると、色んな子となかよくなれて楽しいよ。ぼくは今でもおにごっこが大好きです。

じゅぎょうもおすすめです。ぼくはぜんぶのじゅぎょうが大好きです。なぜかという、みんながあてられて、はじめて聞く子の声やお話しが聞けるからです。色んな先生が教えてくれて、おもしろいよ。1年生にも、じゅぎょうを好きになってほしいな。

あと、きゅう食もすごくおいしいよ。ぼくはグレープフルーツとぶどうパンがにが手だったけど、しょうぶで少しずつ食べられるようになったよ。

おすすめのかかりは、ゆうびんだよ。ゆうびんがかりは、はこに入っているみんなのノートやプリントをくばって、みんなの名前とせきをおぼえられるよ。

今は心ばいかもしれないけど、学校は楽しいよ。おうえんしてるから、がんばってね。



中等部 学年主任 数学科 横山 道行

## 完全(またき)に向かって進まん

77期生の皆さん、中等部へのご入学おめでとうございます。  
皆さんの入学を心待ちにしていました。

さて、「77」という数字の並びに、私だけでなく多くの人特別な印象を受けるのではないのでしょうか。「7」はよく幸運の数字とされます。数学には完全数(自分自身を除く正の約数の総和と、自分自身が等しい自然数)がありますが、聖書にも完成・完全を表す数字があります。それが「7」です。

例えば、神様が天地創造を7日で完成なされ、第7の日を祝福し聖別されたことを聞いたことがあります。他にも「7つのパン」や「7の70倍までも赦しなさい」など聖書を開くと「7」を多く目にします。

ぜひ77期生の皆さんには、中等部での生活と学びを通して、なりたい自分を見つけ、目標に向かって様々なことに挑戦して欲しいと思います。最初から完全・完璧な人はいません。時に悩み、迷うことを繰り返しながら成長して欲しいと思います。努力する皆さんを私は応援し、見守りたいと思います。

77期は私にとって7期目の担任です。神様の支えに日々感謝しながら、生徒達との3年間の道のりを進んで行きたいと思います。



3年 木内 一果

## 目標を目指して

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。新しい場所に緊張し、不安で胸がいっぱいの人も多いと思います。

さて、みなさんには中等部で達成したい目標はありますか？私は中等部入学前の課題であった「中等部での目標」という作文に「学友会に入りたい」と目標をかかげました。有言実行を目指し1年生の時には2年学年委員、2年生の時には会長へと立候補し、無事当選することができました。

どんな目標を叶えるためにも、口に出し挑戦することが何よりも大切です。今はまだただ不安で目標なんて見つけれられるわけがないと思ってしまう人もたくさんいるでしょう。それでも3年間しかない時間を有意義に使うには目標を立てるべきだと私は思います。目標が見つからない人はまず自分を見つめ直してみてください。自分の良い所を見つけてそれを活かす目標を作る。もしくは悪いところを見つけそれを直す目標を作る。その目標はきっとみなさんの3年間に彩りを与えてくれることでしょう。これから始まる3年間が明るく楽しいものになるよう祈っています。



高等部教諭 神田 信輔

## 恵みのギフト

ご入学おめでとうございます。中等部から進学した皆さんも、推薦・帰国入試、あるいは一般入試を経て進学した皆さんも、期待と緊張感をもってこの時期を過ごしていることでしょうか。まずは新しい学校生活に慣れ、肩の力を抜いて過ごしてもらいたいと願う一方で、適度な緊張感を維持し続けることも必要です。目標やすべきことに向かって地道な努力を重ね、充実した高校生活にしていきたいと思います。

青山学院では、聖書の言葉を大切にしています。その中に、「主の良くしてくださったことを何一つ忘れるな。」(詩篇 103:2、新改訳)という教えがあります。私たちが神様によって愛され生かされていると知るとき、他の人の評価を超えた存在をそこに確認することができます。そんな神様の良くしてくださったことを、一つ一つ数えてみましょう。失敗や後悔も多くあるかもしれませんが、それらすべてを包み込むほどの「恵みのギフト」が、必ずやあなたを活かし勇気づけてくれることでしょうか。

3年 中島 柚香

## 神様のお導きのもとで

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。高等部では通常の授業による学習以外にも、選択肢に富んだ環境の中で、楽しく有意義な高校生活を過ごすことができます。

私はたくさんの活動がある中で、自主学習団体のフィリピンプロジェクトの活動に参加しています。青山学院では、フィリピンの貧困層の子どもたちをチャイルドファンドジャパンというNPO法人の方々を通して支援していることをご存知ですか？ 支援チャイルドを中心に現地の状況について学び、積極的に交流する活動です。また、この活動とは別に現地を訪問するプログラムもあり、私は初等部の時に参加しました。チャイルドの生活や価値観から多くを学び、社会問題や人権に興味を持つようになったことで、自分自身を見つめ直し、大きく成長することができました。

聖書には「おののいてはならない。あなたがどこに行っても、あなたの神、主があなたと共にいるからだ。」(ヨシュア記 1:9)とあります。高等部では多様な価値観を学ぶ多くの機会があります。新入生の皆さんが、恐れずたくさんすることに挑戦し、神様の豊かな恵みとお導きのもとで豊富な経験ができることを祈っています。



大学経済学部教授 芹田 敏夫

## たくさん失敗しよう

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。これから新しい学びや仲間と出会い、多様な考え方に触れながら、さまざまな新しい経験をされることと思います。新しいことへのチャレンジには失敗がつきものです。失敗を恐れてチャレンジしないと大事なチャンスを失ってしまいます。私も大学生活のスタート時に一人暮らしを始め、新しい経験において多くの失敗をしてきました。この世界はわからないことばかりで、私たちの経験や知識は足りないから、失敗するが当たり前だと思います。

青山学院のベースは神への信仰と聖書にあります。聖書の中には

人間の失敗がたくさん記述されています。たとえば、主イエスの弟子たちは、とんでもないことを発言したり、大事なところで居眠りをしたり、失敗ばかりです。私たちは失敗から多くのことを学ぶことができます。神が支えてくださるのですから、安心して失敗しましょう。

「私は絶えず目の前に主を置く。主が右におられ、私は揺らぐことがない。」

(詩篇 16 : 8)



総合文化政策学部3年 橋本 莉胡

## 地の塩、世の光として

新入生の皆さま、ご入学おめでとうございます。

これから始まる青山学院でのキャンパスライフには、皆さんの大きな期待にふさわしい、たくさんの新しい出会いが待っていることでしょう。皆さまの学生生活が、神様の溢れる恵みの中で、豊かに実を結ぶものとなることをお祈りしております。

さて、青山学院のスクール・モットーである「地の塩、世の光」の示す“塩”には、世を清め腐敗を防ぐ、という役割が期待されていますが、私が高校時代に受けた説教のなかでは、その“塩”に対してもうひとつの役割が示されていました。それは、例えば何か塩辛いものを食べると、自然とグラスに手が伸びるように、“塩”は自然と水を求めるよう 渴きを与える という役割をも担っているというのです。長く、楽しい青山学院での学生生活を終えた時に、神様に味付けされた清めの塩として、あるいは神様という水を求めたくなる渴きをもたらす塩として、世に出ることができるよう共に精進して参りましょう。



# キリスト教活動 クラブ活動案内

青山学院で過ごす日々が素晴らしいものとなることを期待して、各部のクラブ活動の一部をご紹介します。

## 聖歌隊

大学聖歌隊は、水曜日と土曜日の週2日、16:40～19:40に青山キャンパスで練習を行っています。大学礼拝で讃美歌を歌うほか、定期演奏会・クリスマス奉唱会ではクラシック曲にチャレンジし、演奏旅行や合宿も行っています。演奏の様子はYouTubeをご覧ください。性別や学年、合唱経験の有無にかかわらず、新入隊員を募集中です。キリスト教に触れたことのない方も心配ありません！少しでも興味のある方は4月の新入生歓迎イベントや公開練習にお越しください。質問や相談はSNSのDMでお待ちしています。



## ハンドベルクワイア

ハンドベルクワイアは一人ずつ音を担当して全員で一つの曲を演奏するその特性からチームワークが大切です。そのため学年関係なくとても仲が良いのが特徴です！曲を作り上げる過程の楽しさや、本番で味わえる達成感が仲間と一緒に演奏することで何倍も大きくなるのが魅力です！昨年は礼拝、コンサート、学祭などで沢山演奏しました！SNSで詳しい魅力を発信していますのでぜひチェックしてください！初心者の方でも簡単に演奏ができます！体験練習でお待ちしています！



## 青山キリスト教学生会 (Aoyama Christian Fellowship)

青山キリスト教学生会 (ACF) は、青山学院大学公認のキリスト教学生団体です。約100名のメンバーが所属しています。メンバーの中には、青学に来て初めてキリスト教に触れたという人もいます。定期活動では、聖書を読んで思いを共有したり、祈り合ったり、賛美をしています。その他にも合宿や学祭でのコンサートや教室出展、クリスマス祝会など楽しいイベントも沢山あります！皆さんにお会いできることを楽しみにしています。



## ゴスペル・クワイア

新入生の皆さんご入学おめでとうございます！ゴスペル・クワイアは、週2回ガウチャー記念礼拝堂などで活動しています。ゴスペルは、神様に賛美を届ける宗教音楽で、様々な曲調を全身でノリながら楽しく歌うところが魅力です。イベントも盛りだくさんで、メンバー同士とても仲が良いです。歌が好きなら、ここでしかできない経験をした人、誰でも男女共に大歓迎！活動の詳細はインスタグラムなど公式SNSをご覧ください。





## ABF (Aoyama Bible Fellowship)

3年 北原 大樹

私は高等部から青山学院に入学しました。それまでは普通の地元の公立学校に通っており、私自身や両親がクリスチャンというわけでもありません。16年間宗教に触れてこなかった私がどうしてABFで聖書に関わりを持つようになったのかといいますと、きっかけは中学の頃にあります。私は社会科の科目が好きで、その中でキリスト教とユダヤ教とイスラム教は同じ神を信仰する「アブラハムの宗教」だということを知りました。聖書は世界の半分近くの人間が読んでいるというのに自分がそれについて知らないのは良くないのではと思い、この部活の存在を知った時、今の私に必要な部活だと確信しました。

聖書を学ぶと社会の見え方が大きく変わります。中でも道德基準はキリスト教を信じるかどうかに関係なく学ぶ価値があります。たとえば日本では母親が子供をしつけるときは「迷惑をかけるからしてはいけない」というように教育していますが、聖書の中では律法やイエスの言葉を道德の基準書にします。つまり「聖書に書いてあるからやってはいけない」ということです。この違いは実際に社会での思想の食い違いが生まれる原因だと思っています。大多数の日本人が気にしないことでも、クリスチャンからしたら重大なこともあります。これはとても興味深い話ですし、聖書を理解する上でお互いが歩み寄れるきっかけになると思います。



## 聖歌隊

3年 時田 結衣

中等部の聖歌隊は、クリスマス礼拝やイースター礼拝などの大きな礼拝の際に讃美歌を歌い、神の愛や栄光を讃えています。練習を重ねることで、四声が少しずつまとまっていく喜びを感じる事が出来ます。心を込めて歌う私達聖歌隊の讃美歌が、よりよい礼拝へのご奉仕となり神様や皆さんの心に響くことを願い活動しています。

## 緑信会

3年 マッキンタイア 莉杏

緑信会とはボランティア精神を持っている生徒が活動している会です。緑信会では、自分たちには何が出来るか考えて活動しています。去年は古切手の収集や募金活動、そして中等部内の緑を増やすために野菜の栽培を行いました。今年も緑信会はまわりの人のために頑張っていきたいと思っています。

## ハンドベル部

3年 藤山 莉緒

中等部ハンドベル部は、今年度から活動の場も増え、収録していたものが生演奏へと戻りました。「友達、友情、繋がり」を大切にして、礼拝でのハンドベル賛美、オール青山、中等部祭、点火祭、クリスマス礼拝などで演奏しました。ハンドベルは、みんなで助け合い、励まし合い、お互いの音を聞くことによって良いハーモニーを奏でることが出来ます。良い演奏で喜びの「輪」が平和の「和」へと広がりますように。



左から時田、マッキンタイア、藤山

## 聖歌隊

6年 掛川 凜太郎



ぼくたち聖歌隊は、毎日の礼拝やイースター礼拝、点火祭、クリスマス讚美礼拝など大切な礼拝で讚美歌を歌ってご奉仕をしています。讚美歌には難しい言葉もありますが、神さまへの感謝を歌で伝えられることがとても素敵だと思います。学年が上がるにつれて、今まで分からなかった讚美歌の歌詞の意味が分かるようになった時に、自分の成長を感じることもあります。

ぼくが聖歌隊の活動の中で一番見てもらいたいのは、クリスマス讚美礼拝です。真っ暗な青学講堂が聖歌隊の持つろうそくの光で照らされ、イエス様の降誕の物語が聖歌隊の讚美する歌と共に進められます。点火祭後の約1ヶ月間は、毎日クリスマス礼拝のために練習します。大変ですがぼくはこのクリスマスの準備期間が大好きです。1年生のみなさんにもぜひ、讚美歌を歌ってほしいと思います。

## ハンドベルクワイア

6年 吉田 悠莉



私たちハンドベルクワイアは、週2回の通常練習に加え、礼拝のご奉仕やクリスマス讚美礼拝、点火祭での演奏など多くの活動の場があります。ハンドベルという楽器は一人では演奏できないとても素敵な楽器だと、担当の小澤先生はよくおっしゃっています。皆の力を合わせることで曲を完成させることができる素敵な楽器です。ですので、1曲完成させるためには皆で何度も何度も練習します。

私は4年生からハンドベルクワイアに入っていますが、1年間の活動の中で礼拝のご奉仕と点火祭が特に好きです。礼拝では今まで練習してきたきれいな曲を神さまにお捧げすることができ、良い1日が始まりそうな気がするからです。点火祭では暗くとても寒い中、演奏をします。そんな夜空に響き渡るベルの音はいつもとは少し違った音に聞こえ、暗闇を照らす光のような存在になれている気がするからです。

ハンドベルクワイアは、仲間との絆が深まるととても素敵なクラブだと私は思います。ハンドベルという楽器に出会えて本当に良かったです。

## 編集後記

Wesley Hall News142号をお届けします。2023年度の1年が始まりました。今年度も多くの新入生をお迎えしました。この3年間のマスク生活から、少しずつコロナ禍以前の生活に戻りつつあることに希望を感じます。新入生だけでなく、在園、在校生にとっても沢山の新たな出会いがあることでしょう。希望に胸を膨らませている人もいれば、新しい人間関係や新たな挑戦を不安に思っている人もいることでしょう。この新入生歓迎号ではそんな人達に寄り添ったメッセージや聖句が沢山寄せられています。また、冒頭には「青山学院で神さまが用意してくださっているお宝探し」のメッセージをいただきました。人生のお宝探しに必要なヒントが聖書の中にあります。私たち一人一人が、神さまが私たちに用意してくださっている宝を見つけ、それを生かすことができますように。

初等部教諭 浅賀 満理子

Wesley Hall News 第142号

2023年4月25日発行

発行 青山学院宗教センター  
学院宗教部長 伊藤 悟

編集 青山学院 Wesley Hall News 編集委員会  
〒150-8366  
東京都渋谷区渋谷4-4-25  
TEL 03-3409-6537 FAX 03-3409-8865

URL <http://www.aoyamagakuin.jp/rcenter/index.html>

MAIL [agcac@aoyamagakuin.jp](mailto:agcac@aoyamagakuin.jp) みなさんの感想をお聞かせください

青山学院スクール・モットー

## 地の塩、世の光

The Salt of the Earth, The Light of the World

(マタイによる福音書 第5章 13-16節より)